

## 令和5年度第3回花巻市健康づくり推進協議会 会議録

1 開催日時 令和6年3月15日（金）午後1時～2時

2 開催場所 花巻保健センター 2階 集団指導室（花巻市南万丁目970-5）

3 出席者 計 28名

(1) 委員 15名

中館一郎委員、菊池初江委員、佐藤雅子委員、狩野敦史委員、阿部信洋委員、松本祥子委員、鎌田愛子委員、伊藤清子委員、佐藤大峰委員、高橋京子委員、菅原志麻委員、北村義剛委員、小瀬川ちはる委員、渡邊富美子委員、菊池孝進委員

(2) 欠席した委員 5名

佐藤道輝委員、佐藤貴哉委員、小田島克久委員、佐藤大峰委員、工藤直人委員、松本弘子委員、

(3) 事務局 13名

健康福祉部長 今井岳彦、健康づくり課長 長山義博、同課長補佐 久保田和子、同課長補佐 押切智恵子、同課長補佐 蟹澤容子、地域医療対策室次長 高橋宏明、同企画総務係長 亀谷泰子、同予防推進係長 菊池くるみ、同成人保健係長 高橋朱里、同母子保健 鎌田晶子、同健診管理係長 高橋千恵子、同上席主査 佐藤峰子、同主任 菊池菜摘

4 協 議

(1) 令和6年度における健康づくり推進の取組について

(2) 第2期花巻市自殺対策計画（案）について

5 議 事 録

(1) 開 会（事務局：久保田課長補佐）

お待たせいたしました。

ご案内の時間となりました阿部委員につきましては、少々遅れるとのご連絡をいただいております。ただいまより、令和5年度第3回花巻市健康づくり推進協議会を開会いたします。

皆様におかれましてはご多忙のところご出席いただき、ありがとうございます。  
開会にあたりまして、健康福祉部長の今井よりご挨拶を申し上げます。

(2) あいさつ (今井健康福祉部長)

お疲れ様でございます。

本日は年度末のお忙しい中、花巻市健康づくり推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては日頃から当市の健康づくり施策へのご支援、ご協力を賜っておりますことにつきまして、深く感謝を申し上げます。

さて、この健康づくり推進協議会は、市民の健康づくりの効果的な推進を目的として設置しておりまして、委員の皆様から、生活習慣病予防や健康づくりに関するご意見をいただくため毎年度開催しているところでございます。今年度につきましては、令和6年度を初年度といたします第2期花巻市自殺対策計画の策定に関してご意見を伺うため、3回の会議の開催を予定しており、本日はその3回目に当たります。

本日の会議では、令和6年における健康づくり推進の取り組みについてご協議いただきます他、第2期花巻市自殺対策計画に関しまして、これまで委員の皆様からいただいたご意見を初めといたしまして、自殺対策ネットワーク会議の委員の皆さんのご意見やパブリックコメントでいただいた意見を基に作成しました第2期花巻市自殺対策計画案についてご協議をいただきます。

市といたしましては、本日の会議を受けまして、第2期自殺対策計画を完成させてまいりたいと思っておりますので、それぞれのお立場でご忌憚のない意見をいただけますようお願いを申し上げます。開会にあたっての挨拶をさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

(事務局：久保田課長補佐)

ありがとうございます。ここで本日の出席状況を報告させていただきます。

本日は花巻市健康づくり推進委員20名中15名の方にご出席いただいております。ご出席の委員の皆様においては、最後までご審議方よろしく願いいたします。

(3) 議 事 (事務局：久保田課長補佐)

それでは、3の協議に移らせていただきます。

会議の議長は、要綱第4条第2項の規定により会長となっておりますので、中館会長よろしく願いいたします。

【協 議】（進行：中館会長）

皆様、ご苦勞様でございます。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、皆様にお諮りします。花巻市の審議会等の会議に公開に関する指針に則りまして、本会議を公開することを承認いただきたいのですが、よろしいでしょうか。

異論がないようなので、本会議は公開で進めたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、協議に入ります。

協議の1番、「令和6年度における健康づくり推進の取り組みについて」事務局よりご説明をお願いいたします。

（事務局：長山課長より、「令和6年度における健康づくり推進の取り組みについて」資料に基づき説明した後、今井部長より、令和6年度に健康福祉部内に新設となる「こども家庭センター」について説明）

（中館会長）

はい、ありがとうございます。今の説明に対して、委員の皆様からご質問やご提案、何かありましたら、挙手をお願いいたします。

（高橋京子委員）

健康教育相談事業として生活習慣病予防対策と健康づくりフロンティア事業が継続だということですが、この事業について成果とか課題を簡単に教えていただければと思います。

（高橋朱里成人保健係長）

フロンティア事業につきましては、大迫地区の4箇所を回って家庭血圧測定の普及啓発をする事業ですが、こちらの成果ですが、まずは家庭血圧測定の普及率が大迫地域は花巻市全域の他地区よりも高い割合で推移をしております。フロンティア事業は大学の研究も兼ねた事業ですが、脳血管疾患脳卒中の死亡率も減っているという結果が得られております。

生活習慣病予防対策につきましては、4つの事業がぶら下がっておりますが、当市では肥満の方が多く、運動習慣のある方の割合が減ってきているという健康課題があるため、運動動画の配信等、運動の普及啓発を目的にした健康講座や、運動習慣の定

着を目的にした健康ポイント事業など、課題を解決する内容で事業を組み立てております。各事業を分析しながら取り組んでおりますが、全体の評価としては、継続した取組が必要と判断した事業を実施することとしております。

(中館会長)

他にご意見、ご質問等、ありませんでしょうか。

(小瀬川ちはる委員)

2点ほどお伺いしたいと思います。1点目ですが、心の講演会の開催が新規となっておりますが、この周知はどのような形で行うのでしょうか。また、「サロンを北上と連携しながら」という文言を前に見た気がします。花巻にはそのようなサロンがないのかが1点。

それから、医療用の補正の対象者ですが、過去に当市で及び他自治体で医療用補整具週同様の補助金交付を受けていない者とありますが、過去というのは、どこまで遡るのか。花巻の方でウイッグ購入への支援が始まった際、申し込みたい方がいたが、何年から何年までと決められており、何ヵ月というところで支援を受けられない方がいたので、過去はどこまで遡るのか、お聞きしたいと思います。

(高橋朱里成人保健係長)

まず、心の講演会の周知方法についてですが、広報やホームページ、関係する企業への周知を図る他、保健推進員や食生活改善推進員といった地域の団体を対象に、まず周知を図っていきたいと思っております。自死遺族のサロンについては、自殺対策に関する連携などの内容で、家族の気持ちに配慮しながら行うもので、保健所が主催で、現在は、北上市を会場として実施されております。

(高橋千恵子健診管理係長)

健診管理係高橋と申します。花巻市では、令和2年度に医療用補整具の購入支援事業を始めました。この事業は「過去に当市及び他の自治体で同様の補助金交付を受けていない方」を対象に、生涯1回の補助金を交付するものです。花巻市以外で同様の補助金を受けた方は対象外として、補助金を交付しますので、花巻市以外でもそういった補助を受けた方は対象外という形になります。

(小瀬川ちはる委員)

生涯1回の補助金ということですが、2年前に購入して補助金交付を受けられないまま、購入したウィッグの領収書を失くした方等もいると思いますが、そのところも認められるのでしょうか。

(高橋千恵子健診管理係長)

この事業は令和2年度に開始したもので、それ以前に購入された方については対象外という形になりますが、今後、2台目や3台目をお買い求めになる際には、必要な書類を揃えていただければ、申請可能ですのでご了承いただければと思います。

(小瀬川ちはる委員)

事業の開始前にウィッグ購入した方もある程度いると思うが、過去という文言では、以前購入した方も対象になると受け取られることがあると思う。令和2年度以降とように書いた方が期待を持たせなくてよろしいのではないのでしょうか。

(高橋千恵子健診管理係長)

当市は令和2年度に始めたが、県内では北上市とかが先行して補助をしていたが、花巻市としては事業を開始した令和2年度以降に購入した方に補助金の方を交付したいと思っておりました。

(小瀬川ちはる委員)

それはそちらの考えであって、結局、見る側は過去というのは、令和2年度以前でも良いのかと捉えられるの文言ではないか思われます。

(高橋千恵子健診管理係長)

おっしゃる通りだと思います。今、ご説明させていただいた通り、令和2年度以降が対象なので、今後周知する際には、そこを起点にするということをわかりやすく周知していきたいと思います。

(小瀬川ちはる委員)

先ほど4月からこども家庭センターを設置するとご説明いただきましたが、これは従前の保健センターと2枚看板になるのですか、それとも保健センターの下に置く形になるのか、組織的にどうなのでしょう。

(今井健康福祉部長)

下ではなくて健康づくり課と並列です。名称はセンターですが、いわゆる課としての位置付けです。今、健康づくりが主管する母子保健を分離して、こども家庭センターに持っていく形になります。

(中館会長)

次に、協議の2番「第2期花巻市自殺対策計画（案）について」の取り組みについて事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局：高橋朱里成人保健係長より、「第2期花巻市自殺対策計画（案）について」資料に基づき説明)

(中館会長)

はい、ありがとうございました。

皆さんの意見に対する修正ということで、当協議会、それから自殺対策連絡協議会、パブリックコメント等合わせて修正したとのこと。概ね出された意見に沿った修正がなされているようですけれども、皆さん何かご意見とかありませんか。

(菊池孝進委員)

前回2回の意見等について、いろいろ考慮していただき、それぞれ修正していただきましてありがとうございます。

計画についてですが、この時点でタイトルが素案となっていますが、この時点では成案だと思います。その他、前半はカラー表示が多くて見やすい反面、後半部分が白黒だけになっているので、全般的に、もう少しカラーになればいいと思いました。例えば、14ページの、いのち支える花巻など、強調されると思います。今後は、県の年報等を得て、最終的に4月以降のスタートとなるが、指標の33ページのネットワークの強化について、花巻市自殺予防推進会議の開催数が前回は2回2回だったのが、今回は0と1回になっており、令和4年度については1回も開催されてないのか気になっていた。前回は申し上げたが、周囲が自殺に気づくことは、大変なことで、家族さえ、気がつかないという例が結構多い中が、その辺の空気は出ていると思う。

自分も70になるが、60代の男性が多いということは、仕事が無くなり退職すると、経済的な関係や自分の病気、家族の介護など、様々な要因が重なっていくとプロフィールに載っていた。公的機関にお願いしたいのは、生活が大変で生活保護だとか、水

道料金が滞納しているとか、交付税が収められてないとか、そういう経済的な危険信号が出た場合など情報を共有してほしい。市役所内で個人情報扱うのは大変なのかもしれないが、ある程度協議しながらやらないと攻めの自殺対策は進まないと思う。窓口で直接、人に接する人達の意識は非常に大事だと思うので、せめて、役所内での相談窓口を担当する方々のゲートキーパー養成研修の年間計画を立てて目標値を目指すとか、そういった取り組みを、是非とも進めていただきたいというのが意見でございます。以上です。

(中舘会長)

もっとカラー化した方が良くとのことですが、事務局は、今のご意見いかがですか。

(長山健康づくり課長)

ご意見ありがとうございます。まず一つ目の体裁ですが、後半が白黒のみで見にくい部分もあると思いますので、若干その部分は修正して、もう少しバランスよく目立たせる工夫をしたいと思います。また、目標の部分ですが、令和4年度の自殺予防推進会議が0回だったことにご意見をいただきましたが、その通りだと思います。

私達の方でも、今後これをさらに拡充して、ネットワークを広げる取り組みを計画内で随所に追加したところです。例えばゲートキーパーの養成については、正職員を対象に計画的に実施しており、令和9年度の目標値685人には、市職員も含まれております。いずれにしろ、各課と情報共有を図り、市民に接する職員の意識改革を進めるとともに、ご意見を参考に、修正の必要性を確認のうえ修正させていただきます。

(今井健康福祉部長)

補足させていただきます。先ほど菊地委員の方から、庁内の例えば滞納とかの情報もしっかり察知して福祉に繋いでほしいというお話がございましたが、実際やっております。税の徴収を行っている収納課等では、滞納や生活困窮とかの大事な情報が含まれることがございますので、担当の聞き取りの中で、そういう情報を把握した場合はやり過ぎせずに、福祉の方と連携して対応している状況でございますので、紹介させていただきます。

(中舘会長)

他に何かご意見とか。ご提言とかありますでしょうか。ないようなので、これで3協議を終了させていただきます。

(中館会長は、議長席から自席に戻る)

(久保田課長補佐)

慎重審議ありがとうございました。

(4) その他(事務局：久保田課長補佐)

続きまして、次第4その他ですが、皆様から何かございますでしょうか。  
ないようでございます。

5 閉 会(事務局：久保田課長補佐)

これをもちまして、令和5年度第3回花巻市健康作り推進協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

今年度におきましては、延べ3回にわたり熱心に議論いただき、誠にありがとうございました。